

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2016.10) 平成27年度:76.

予防的フットケアフローチャートの定着に向けた取り組み

清水 直人, 三国 沙織, 須見 真菜, 餌取 将臣, 九鬼 郷美,
上北 真理, 植山 さゆり

予防的フットケアフローチャートの定着に向けた取り組み

旭川医科大学病院 9階東ナースステーション

○清水 直人、三国 沙織、須見 真菜、餌取 将臣
九鬼 郷美、上北 真理、植山さゆり

【はじめに】

当病棟では予防的フットケアフローチャート（以下FC）を使用しているが、十分に活用されていなかった。そのため、足病変の悪化に気付かず潰瘍形成に至った事例を経験し、FCの改善が必要と感じた。

【方法】

1. FCの問題点を抽出し運用方法を見直す。
2. 新FC運用後の介入内容と運用率を調査する。

【結果】

現行のFCは評価項目が少なく、入院時の評価で介入不要と判断されると再評価の機会が無

かった。更に、介入が必要とされた場合でも介入内容が限定的だった。新FCでは次回評価日をその都度設定し、担当看護師が評価することで、即時介入と継続した評価が可能となった。また、介入内容は評価者のアセスメントを基に実施し、個別性を持たせるようにした。新FC導入後、運用率は11%から75%に増加し、退院時指導で行っていた介入を入院時から開始できるようになった。

【まとめ】

現時点で足病変が重症化した事例は無く、FCの改善は有益だったと考える。